



**Agilent**

Trusted Answers

# ICP-MS 微量元素分析で 直面する課題

## データの信頼性と確信

- 干渉や分析困難なマトリックスによる再分析、遅延、不確実性
- 複数のチューンモードによる複雑さの増大

## 複雑さと使いやすさの両立

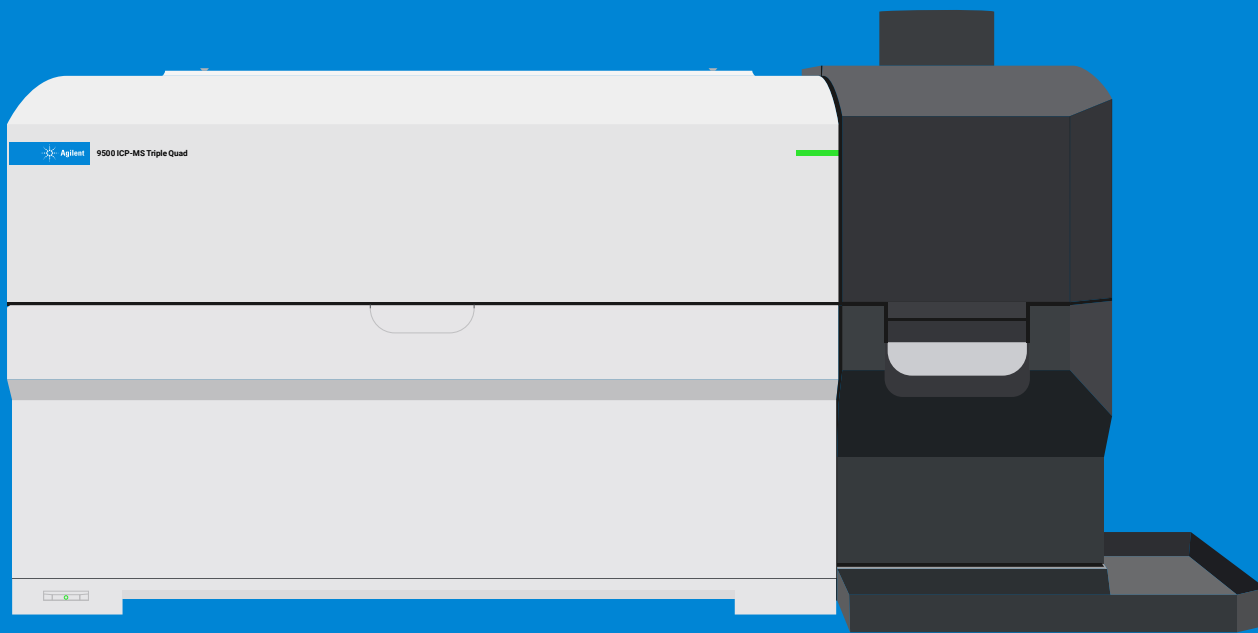
- ICP-QQQ はルーチン分析には複雑に思える
- メソッド開発に専門知識が必要
- 追加の高純度リアクションガスが必要

## 拡張性の限界と将来の 対応への不安

- 更なる極微量の分析ニーズに対応できない
- 業務への影響の懸念により、ICP-QQQ の導入に踏み切れない



これらの課題の解決策：



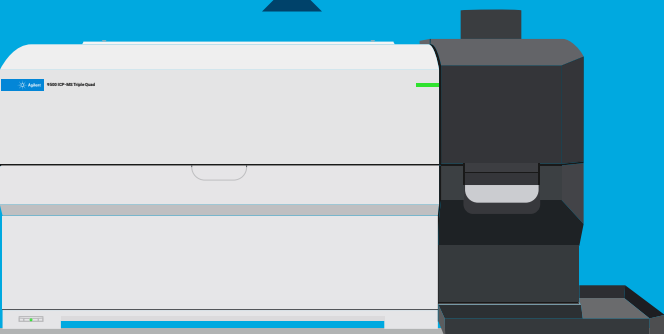
# The Agilent 9500 ICP-MS/MS

## デュアルセルシステム (DCS) のメリット

- マルチチューンメソッドが不要、単一のアドバンスドヘリウムモードにより質量範囲全体で優れた干渉除去と感度を達成
- エアセル ICP-MS/MS リアクションモードにより、困難な干渉を解決
- Method Advisor と IntelliQuant スターレーティングによりICP-QQQ メソッド開発が容易に

## アドバンスドヘリウムモード

- 単一のヘリウムコリジョンモードで全質量範囲に対応
- 測定時間を 33 % 以上短縮
- 高エネルギーコリジョンにより、CID と KED\* を促進してさらに干渉を除去



## エアセルリアクションモード

- リアクションモードにより、問題となり得る干渉除去に対応
  - REE<sup>++</sup> と Ge、As、Se
  - MoO on Cd
  - WO on Hg
- 周囲空気を使用するため、追加の反応性ガス、安全要件、ユーティリティコストが不要

## 高度なデータ解析

- Method Advisor、シングル四重極 からトリプル四重極のメソッドへの自動変換、IntelliQuant スターレーティング、高品質なデータと容易なデータ確認
- オートチューニング、ガイド付き診断により、ストレスがなくなり生産性が向上



空気を使用して品質の高い  
データを取得

再分析が不要

優れた性能でスムーズに  
分析



# WOW

## The Easiest Smart Decision You Can Make

DE-013867

本文書に記載の情報は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2026

Published in Japan, April 15, 2026

5994-9106JAJP